

大学院 教育評価アンケート結果

2019年度 修士課程【看護学専攻】

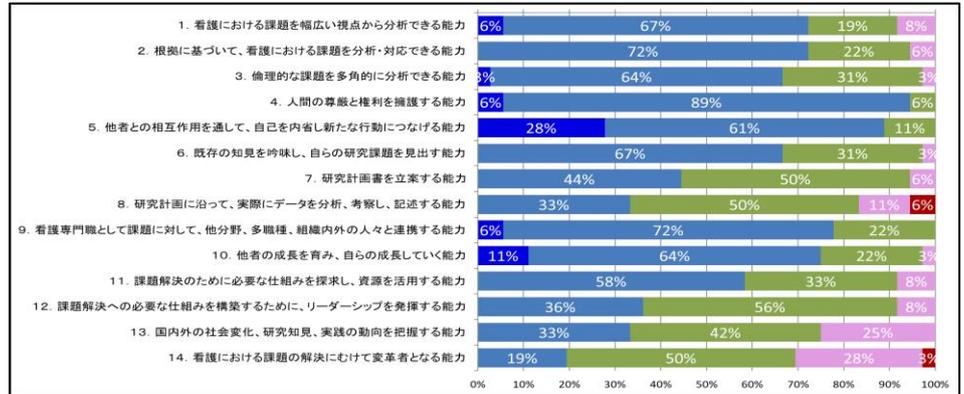
2019年度の修士課程(看護学専攻)の在學生(1~2年生)を対象とした教育評価アンケートは、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を受け、例年よりも回収率が低くなりました。以下、在學生の調査結果についてご報告いたします。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そうは思わない ■ 全くそうは思わない ■ 無回答

I. 現時点であなたが以下の項目を身につけているかについて回答してください

修士課程(看護学専攻)において現時点で身につけている能力として、在學生の8割以上が「強くそう思う」「そう思う」と回答した項目は、14項目のうち2項目でした。

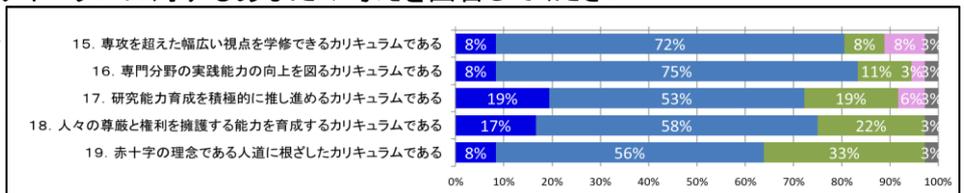
そのうち、「人間の尊厳と権利を擁護する能力」(95%)は、「DP2. 人々の尊厳と権利を擁護するために、倫理的課題を多角的に分析し、対応する能力」に対応しています。また、「他者との相互作用を通して、自己を内省し新たな行動につなげる能力」(89%)は、「DP3. 他者との相互作用を通して、自己を内省し、新たな行動につなげる能力」に対応しています。



II. 本学大学院(修士課程)のカリキュラムに対するあなたの考えを回答してください

修士課程(看護学専攻)のカリキュラムの受け止めについて、8割以上の在學生が「強くそう思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、5項目のうち2項目でした。

専門分野の実践能力の向上を図り、専攻を超えた幅広い視点を学修できるカリキュラムであると評価されています。



III. 大学院における以下の内容に関する満足度を回答してください

本学大学院への満足度として、修士課程(看護学専攻)の在學生の8割以上が「強くそう思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目は、26項目のうち11項目でした。

大学院全体に満足しているとの評価がなされていました。具体的には、視野を広げて新しい発見をする授業や主体的に学べる授業が多いこと、また、教員による個別指導の充実さや論文指導体制の充実さが評価されています。さらには、学問分野の専門家として優れた教員や、学生を尊重する教員、教育や研究、実践に対して熱意を持った教員、人間的な魅力のある尊敬できる教員が多いことが評価されています。加えて、窓口対応のスムーズさや図書館の文献・資料・情報の充実さについても評価されています。

